

FVTerm 操作説明書

第6版

御注意

Microsoft、Windows、Windows95/98/Me/NT4.0/2000は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

1 . はじめに	1
2 . FVTerm の特徴	1
3 . FVTerm のインストール	1
4 . 起 動	2
5 . 画面、各部分の名称	3
6 . メニューバーの機能	5
7 . 通信の設定	6
7.1 デバイスごとの設定	7
7.2 詳細設定	9
8 . 接続してみる	10
9 . ターミナルモードとエクスプローラーモードの切り替え	11
10 . ターミナルモード	12
11 . エクスプローラーモード	13
11.1 ツリービューの機能	14
11.2 リストビューの機能	15
11.3 エクスプローラーモードでの機能	16
12 . バージョン情報	18
13 . 主なメッセージ	19

1. はじめに

この説明書は、FVTerm Ver. 1.14 以降に対応しています。

- FVTerm は、
 - CSC90X シリーズ、
 - FV902 シリーズ、
 - FV904、
 - FV2000-D0S、
 - LNX シリーズと
- シリアルデバイスもしくは Ethernet デバイスを使用して通信を行うソフトウェアです。
(上記の画像処理装置名は以下、画像処理装置として説明)

(注意) Ethernet はサポート機種に依ります。

(動作環境)

OS : Windows98, 98SE, 2000, XP

FVTerm をインストールするには 1MB 以上の空き容量がある HDD が必要となります。

2. FVTerm の特徴

- ターミナルモードとエクスプローラーモードの 2 つのモード

- ターミナルモードでは、
 - デバッグ時のログ出力などが可能 (最大 10kbyte)

- エクスプローラーモードでは、
 - リモートでファイルの操作が可能
 - ・コピー、削除、一括コピー、一括削除が可能。
 - ・FVTerm のファイルメニュー上にファイルをドラッグ&ドロップすることによって、ファイルの転送が可能。

 - ファイルソートなどの機能も標準装備 (ファイルの種類、サイズ、属性などでソート可能)

3. FVTerm のインストール

- Software¥fv1_lnx¥fvterm¥内の Setup.exe を実行してインストールして下さい。
通常のインストールでは、
c:¥program files¥FVTerm
と言うフォルダが作成され、そのフォルダの中に実行ファイルが作成されます。

4. 起 動

Windows のタスクバー上の [スタート] ボタンをクリックします。
[プログラム] [FVTerm] より FVTerm を起動します。

起動時の画面は図 1 のようになります。

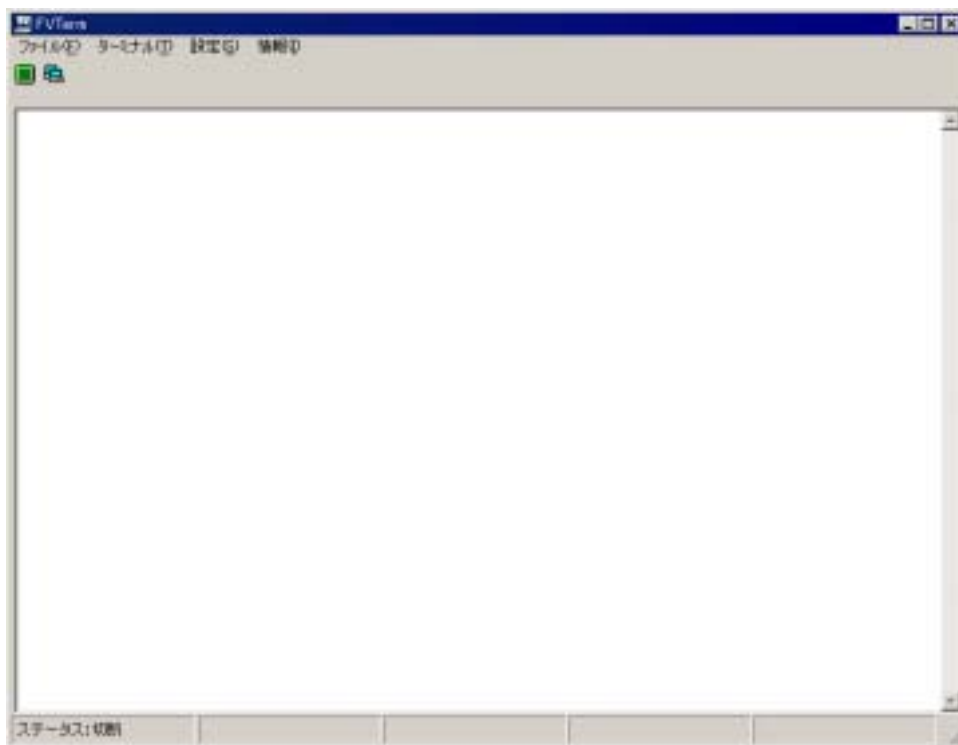


図 1

5. 画面、各部分の名称

図 2 がターミナルモード、図 3 がエクスプローラーモードとなります。

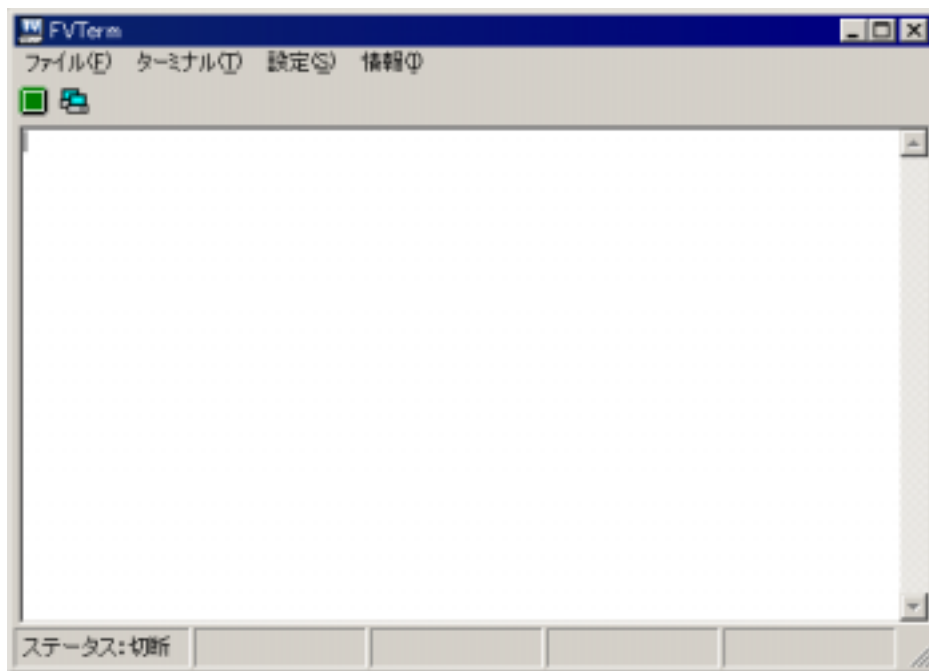


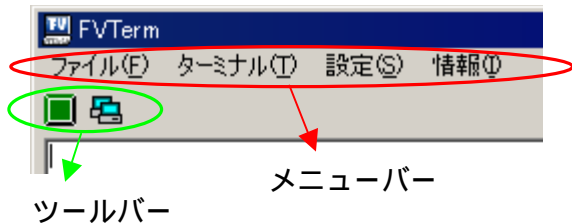
図 2



図 3 (注意) 起動時の画面はターミナルモードとなります。

各部分の名前

メニューバー、ツールバー



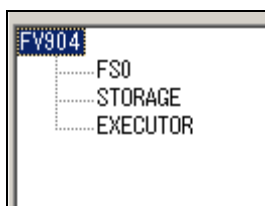
メニューバーは、さまざまな設定を行ったり、マウスによって情報を得たりします。ツールバーはクリック一つで接続、切断等を行ったりします。

ステータスバー



ステータスバーは接続時の情報や、ディスクの残りスペースなどの情報を表示します。

ツリービュー



エクスプローラーモード時に表示されます。(詳細は、11.1 ツリービューの機能)

リストビュー

名前	サイズ	属性	種類
904 PARA.SYS	33152	RW	システムファイル
CSC902.SYS	42364	RW	システムファイル
FAST.MAP	16520	RW	MAP ファイル
HOGHOGH.TXT	33152	RW	TXT ファイル
README4.TXT	857	RW	TXT ファイル
TEMP4.TXT	3894	RW	TXT ファイル
TIMETEST.TXT	126	RW	TXT ファイル

カラムヘッダ

エクスプローラーモード時に表示されます。(詳細は、11.2 リストビューの機能)

(表示されているファイル名は一例です)

6. メニューバーの機能

[ファイル]

- [FS0 ファイル送信] : 画像処理装置の FS0 フォルダにファイルをコピーします。
 - [ダウンロード] : 画像処理装置の EXECUTOR フォルダにファイルをダウンロードします。
 - [バージョンアップ] : 画像処理装置のシステムをバージョンアップします。
 - [設定保存] : IP アドレスや、ウィンドウ位置などのアプリケーションの設定を保存します。(この作業は、終了時にも自動的に行われます。)
 - [終了] : FVTerm を終了します。
-

[ターミナル]

- [接続] : 画像処理装置と通信を接続します。(詳細は、8. 接続してみる)
 - [切断] : 画像処理装置と通信を切断します。(詳細は、8. 接続してみる)
 - [バッファのクリア] : ターミナルモードのバッファをクリアします。
 - [画面切り替え] : ターミナルモードとエクスプローラーモードを切り替えます。(詳細は、9. ターミナルモードとエクスプローラーモードの切り替え)
-

[設定]

- [デバイス] : 画像処理装置と接続するデバイスを選択します。(詳細は、7. 通信の設定)
 - [フォント] : ターミナルモードとエクスプローラーモードの表示フォントを設定します。
 - [詳細設定] : エコーバックなどを設定します。(詳細は、7.2 詳細設定)
-

[情報]

- [バージョン情報] : バージョン情報の表示をします。(詳細は、12. バージョン情報)
-

7. 通信の設定

画像処理装置と PC とで通信を行う場合には、いくつかの設定が必要です。最初にデバイスなどの設定を行ってください。図 4 の様にメニューバーの [設定] より、[デバイス] を選択してください。

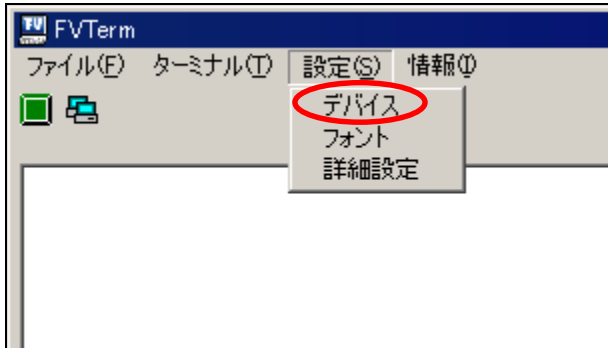


図 4

[デバイス] を選択することにより、図 5 の様なウィンドウが表示されます。



図 5

- PC 設定 : PC 側で使用するデバイス名を選択してください。
現在サポートされているのは、E-LINK、COM1~8 です。
- 90X 設定 : PC 側で COM ポートを使用する場合、
90X で使用する RS232C のチャンネルを設定してください。現在サポートされているのは、
E-LINK、RS232C CH0~1 です。
- 接続先 : 接続相手の機種を設定してください。
この作業によって、バージョンアップなどの作業が自動選択となります。

(注意)

上記の設定はプログラム終了時に自動的に保存されます。[ファイル] [設定保存] でも可能です。PC 設定で E-LINK が選択されている場合、90X 設定は自動的に E-LINK となり手動では設定できません。

7.1 デバイスごとの設定

メニューバーの [設定] [デバイス] [PC 設定] 内の [設定] より、デバイスごとの設定を行います。(図 6 参照)

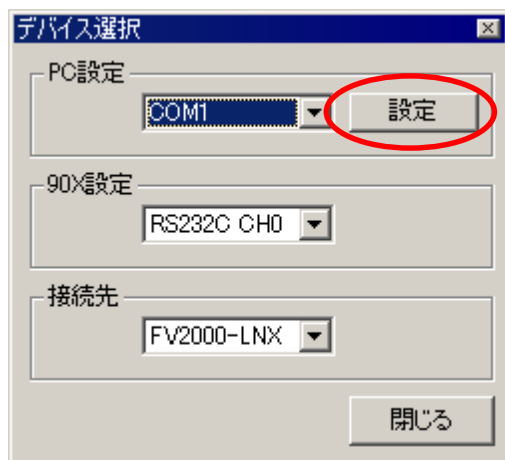


図 6

(注意)

PC 設定内の COM ポートの番号は自動的に、現在使用可能なポートが表示されます。
その為、COM ポートは存在するのに、別のアプリケーションで COM ポートが使用されている場合には、表示されない場合があります。
PC 設定で E-LINK を選択時、PC 設定内の [設定] を選択すると、E-LINK の詳細設定となります。
PC 設定で COM1~8 を選択時、PC 設定内の [設定] を選択すると、COM1~8 の各 COM ポートごとの詳細設定となります。

[設定]を選択することにより、E-LINK が設定されている場合は図 7、COM ポートが設定されている場合は、図 8 の様なウィンドウが表示されます。

E-LINK の場合

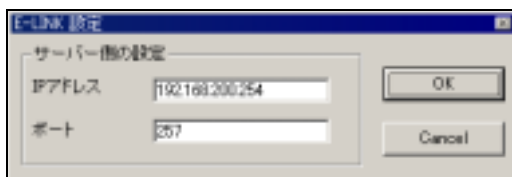


図 7

IP アドレス : E-LINK サーバーが起動しているマシンの IP アドレスを設定してください。

ポート : E-LINK サーバーが起動しているマシンのポートを設定してください。

(注意) 接続先の E-LINK の設定に合わせて設定してください。

シリアルの場合



図 8

フレームに表示されているのは、現在設定中の COM ポート番号となります。

ボーレート : 110 ~ 115200bps まで対応 (実際の速度は相手機種によります)

パリティ : none、even、odd

データビット : 7, 8 ビット

ストップビット : 1, 2 ビット

(注意) 接続先のシリアルの設定に合わせて設定してください。

7.2 詳細設定



ターミネート

: CSC90X、FV904、FV2000-DOS の場合は LF、FV2X00-LNX は CR+LF としてください。

ローカルエコー

: ローカルエコーは弊社画像処理装置との接続では OFF です。

タイムアウト

: 1-60 秒までの設定が可能です。

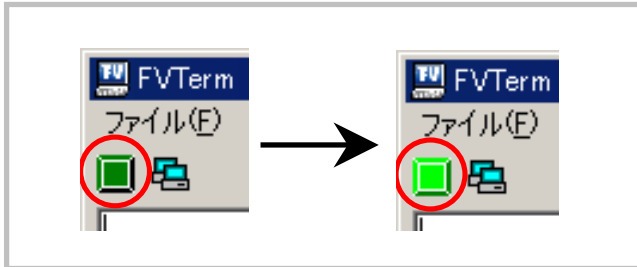
8. 接続してみる

接続の方法は3種類あります。

メニューバーの [ターミナル] [接続] を選択します。

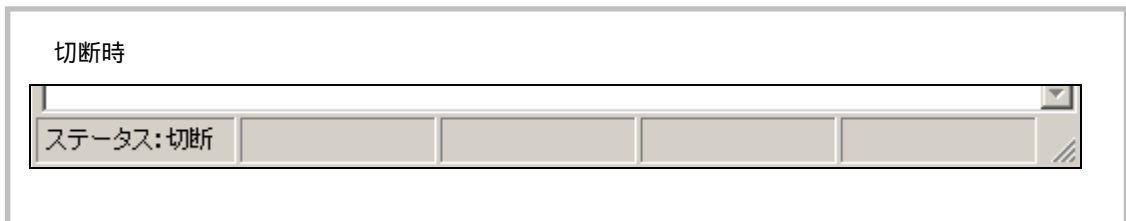
Ctrl+T ボタンを押す方法。

下図のようにツールバーのボタンを押すことにより接続を行います。



(共通) 接続された場合は、ツールバーの赤丸で囲まれたボタンが暗い緑のボタンから明るい緑のボタンに変化します。

またステータスバーが切断から、下図のように変化します。



シリアル接続の場合 (ステータスバー左から2番目の値 57600,n,8,1 は、57600bps, ノンパリティ, 8bit, 1stopbit となります)

E-LINK 接続の場合 (ステータスバー左から2番目の値 172.17.2.58 は、接続相手先 IP アドレス、3番目の 257 は接続先ポート番号となります)

9. ターミナルモードとエクスプローラーモードの切り替え

ターミナルモードとエクスプローラーモードの切り替え方法は3通りあります。

メニューバーの [ターミナル] [画面切り替え] を選択する方法。

Ctrl+R ボタンを押す方法。

図 9 の赤丸で囲まれているツールバーの [画面切り替え] ボタンを押す方法。



図 9

10. ターミナルモード

ターミナルモードではキーボードからの入力によって、画像処理装置をコントロールしたり、画像処理装置からの出力を表示したりします。

図 10 はターミナルモードで、"? "コマンドを送信した例です。

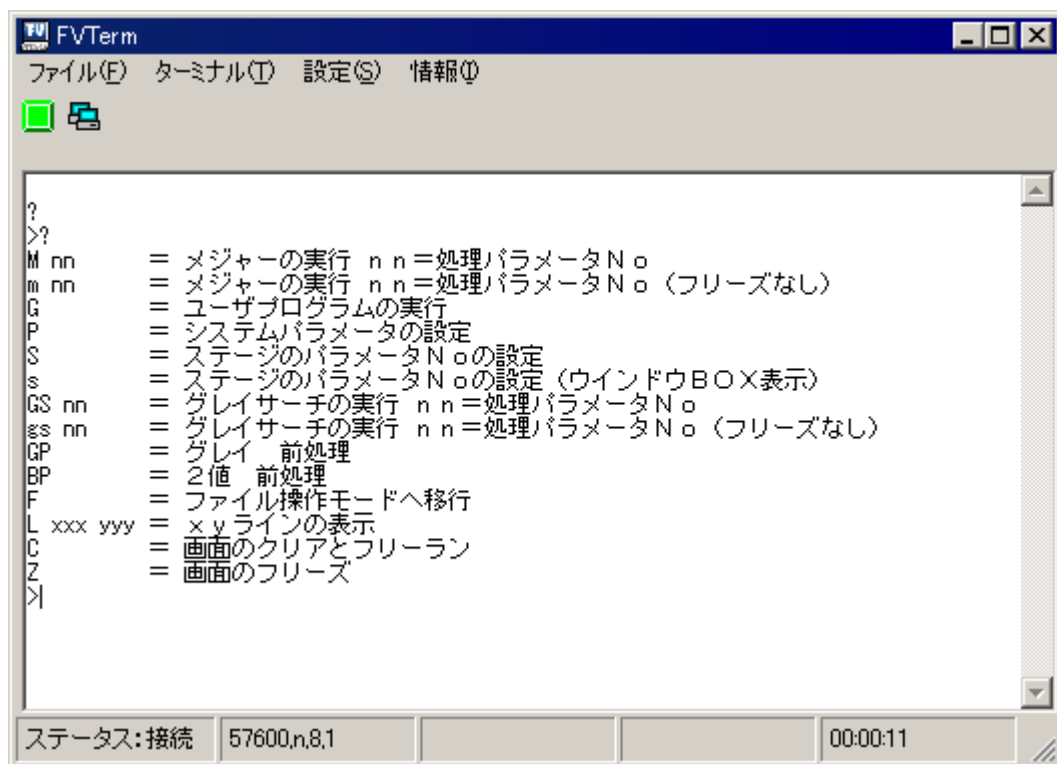


図 10

(注意)

ターミナルモードでは、接続先との通信パラメータの設定が正常に行われていない場合は、文字化けが発生したり、文字が表示されないなどの現象が発生します。

11. エクスプローラーモード

エクスプローラーモードでは 90X 上のファイル情報を確認、追加、削除ができます。



図 11

11.1 ツリービューの機能

画面左側のウィンドウ（図 12）はツリービューとなっています。

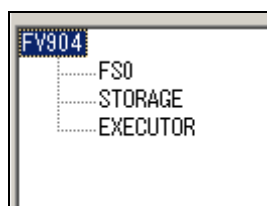


図 12

画像処理装置と接続状態で FS0, STORAGE などの表示の上にマウスを移動させ、クリックすると、図 13 の様に FS0 上のファイルを見ることが出来ます。

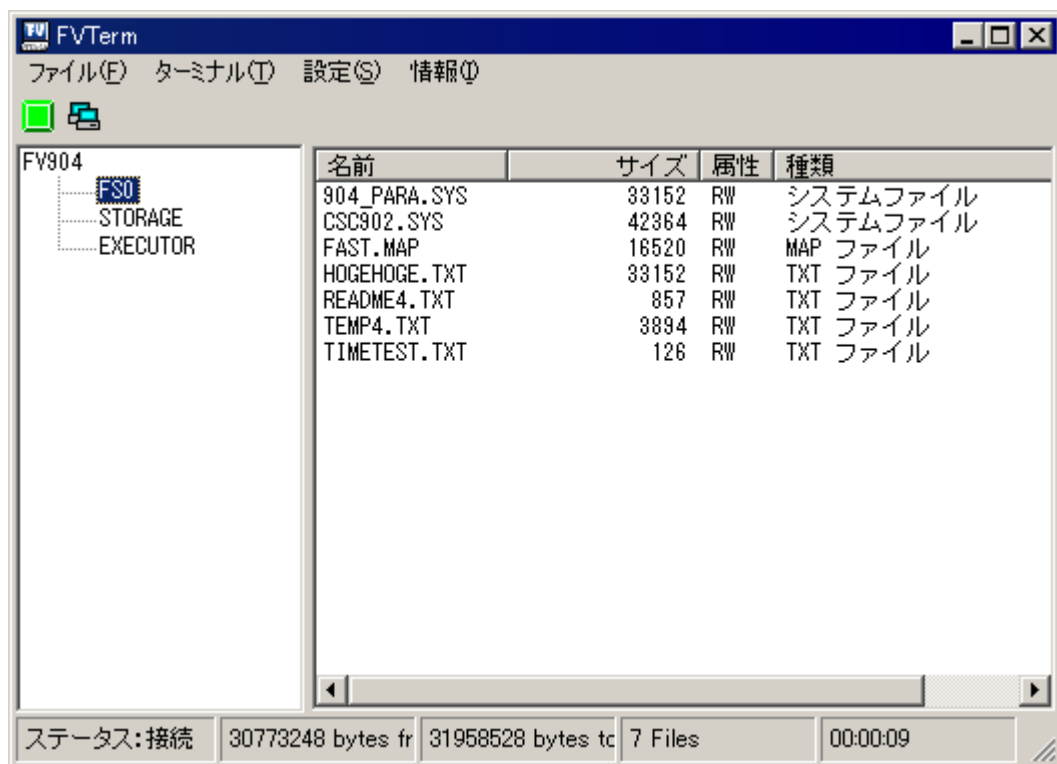
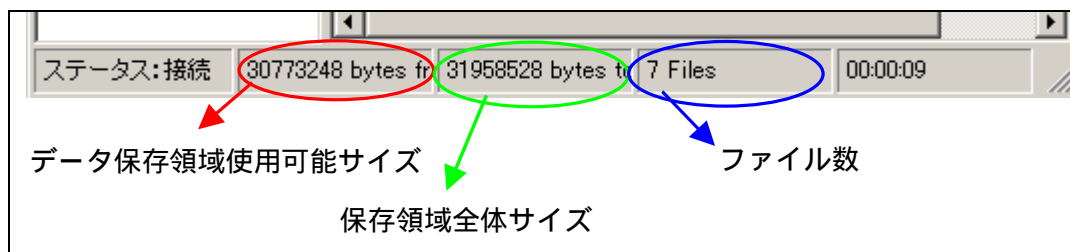


図 13

また、この時のステータスバーには以下のような情報が含まれます。



11.2 リストビューの機能

図 13 のリストビュー部分のみを切り取った表示が図 14 です。

名前	サイズ	属性	種類
904_PARA.SYS	33152	RW	システムファイル
CSC902.SYS	42364	RW	システムファイル
FAST.MAP	16520	RW	MAP ファイル
HOGHEHOGE.TXT	33152	RW	TXT ファイル
README4.TXT	857	RW	TXT ファイル
TEMP4.TXT	3894	RW	TXT ファイル
TIMETEST.TXT	126	RW	TXT ファイル

図 14

リストビューでは、横方向に左から、

ファイル名、サイズ、属性、種類と表示されています。

リストビューにはカラムヘッダと言うものがあり、

ここをクリック

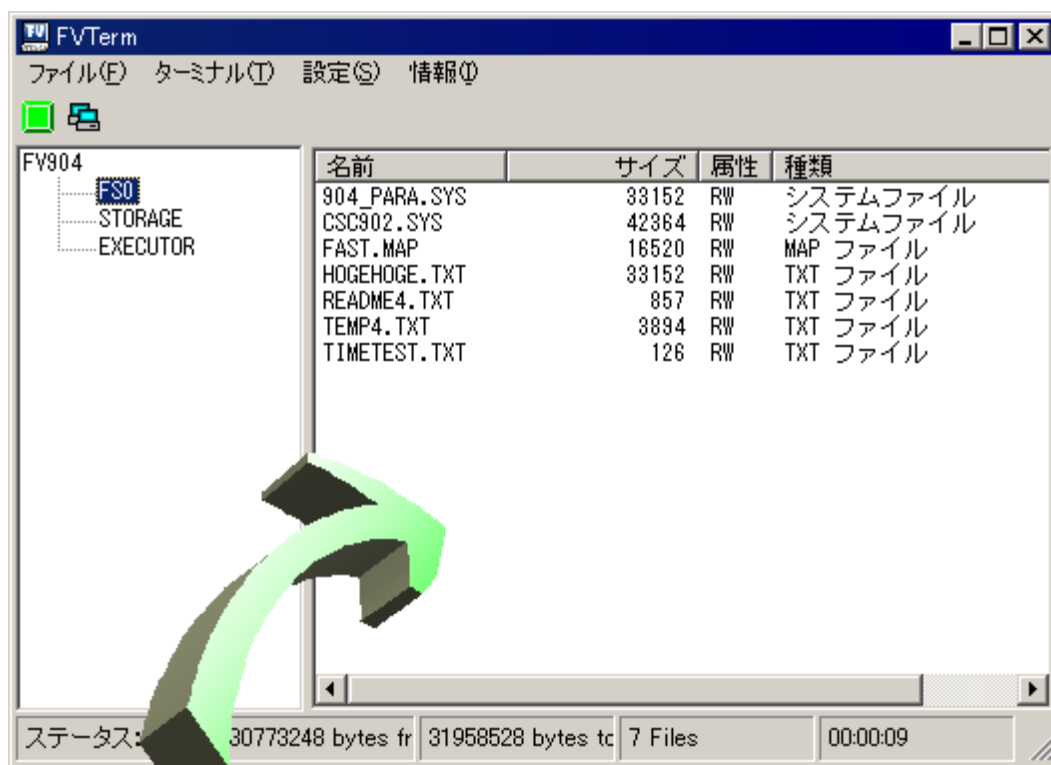
名前	サイズ	属性	種類
904_PARA.SYS	33152	RW	システムファイル
CSC902.SYS	42364	RW	システムファイル
FAST.MAP	16520	RW	MAP ファイル
HOGHEHOGE.TXT	33152	RW	TXT ファイル
README4.TXT	857	RW	TXT ファイル
TEMP4.TXT	3894	RW	TXT ファイル
TIMETEST.TXT	126	RW	TXT ファイル

名前、サイズ、属性、種類の各カラムヘッダをマウスでクリックすることによって、昇順、降順にソートすることが可能です。

また、カラムヘッダの幅はマウスで変更することが可能です。

11.3 エクスプローラーモードでの機能

エクスプローラーモードでは、ドロップ機能をサポートしています。



ファイルをドロップ

ファイルのドロップは複数ファイルでも可能です。
また、リストビューにドロップするだけでなく、ツリービュー内の FS0, STORAGE, EXECUTOR にドロップするだけで、自動的にファイルコピー、ダウンロードを選択して画像処理装置に送信します。

ファイルのコピー、ファイルの削除機能

エクスプローラーモードでファイル選択中にマウスの右ボタンをクリックすると、
図 15 の真中に出ているメニューが表示されます。

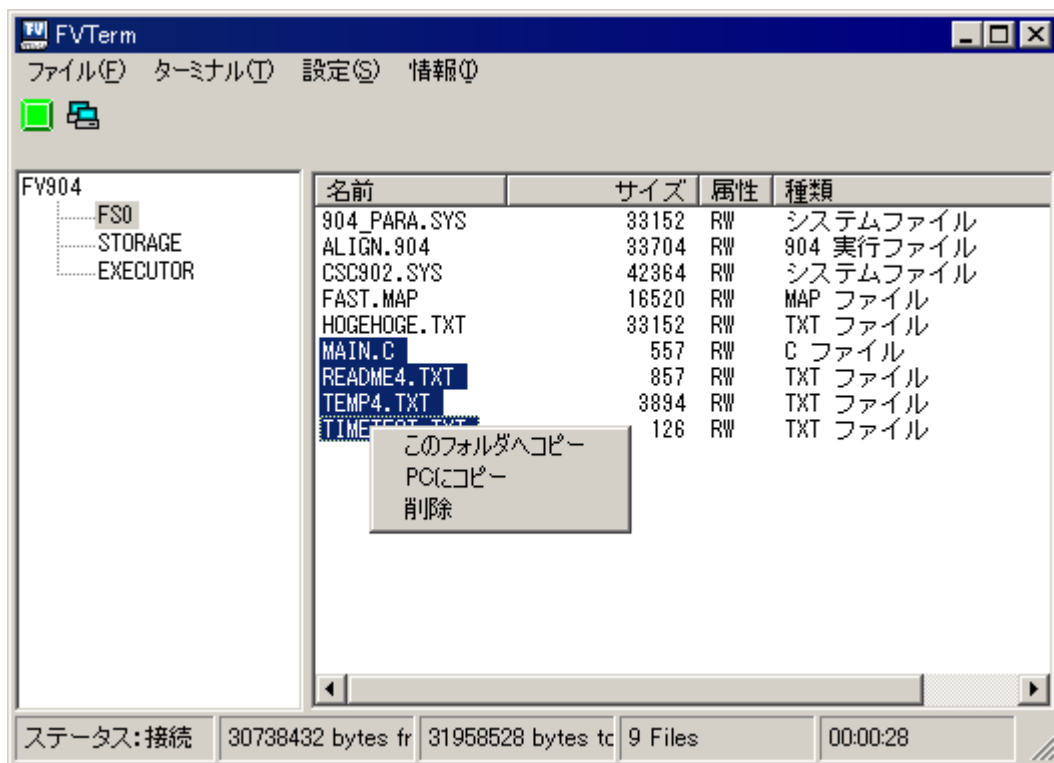


図 15

メニュー説明

このフォルダへコピー

: 選択されているツリービューのフォルダ(ディレクトリ)にファイルをコピーします。

PC にコピー

: リストビュー内の現在選択中のファイルを PC にコピーします。

削除

: リストビュー内の現在選択中のファイルを削除します。

12. バージョン情報

メニューバーの [情報] [バージョン情報] より、バージョンを知ることが出来ます。



図 16

(注意) バージョン情報は、サポート等に必要となります。

13. 主なメッセージ

メッセージ	意味
接続失敗	E-LINK で接続時、タイムアウト秒待っても接続できない場合に発生。
タイムアウトが発生しました	接続時、設定されたタイムアウトを過ぎても、メッセージが返却されない場合などに発生。
バージョンアップ用ファイルが存在しません	バージョンアップ用のフォルダを指定した場合に、していされたフォルダが、接続先の機種と違っていたり、フォルダ自体に間違いがある場合に発生

FVTerm 操作説明書

2005年2月第6版第1刷発行

発行所 株式会社ファースト

本 社 〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2791-5

ユーザー・サポート

FAX 046-272-8692

E-mail : support@fast-corp.co.jp

B-001077